

平成25年 2月

雑賀倫子 学位論文審査要旨

主 査 花 木 啓 一
副主査 兼 子 幸 一
同 吉 岡 伸 一

主論文

Physical and mental factors associated with obesity in individuals with mental disorders attending psychiatric day-care facilities

(精神科デイケアに通所中の精神障害者の肥満に関連する身体的および精神的な要因)

(著者：雑賀倫子、池田匡、吉岡伸一)

平成25年 Yonago Acta medica 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、精神科デイケアを利用している精神障害者の生活習慣と肥満の関係について検討したものである。精神障害者におけるBMI 25以上の肥満の頻度は、健常者に比べて高く、男性で42.4%、女性で54.7%であった。特に肥満の男性患者では、体型の満足度とBreslow健康得点の双方が有意に低値であったことから、自身の肥満の様子を認識はしているが、それを改善するための生活習慣変容ができていない状況が示唆された。肥満を改善するためには、精神障害者に適した生活習慣への介入が必要であると考えられた。本論文の内容は、精神障害者の肥満防止のためには、精神科デイケアの利用などを通じた生活習慣の改善が重要であることを示すものであり、明らかに学術水準を高めたものと認められる。